

**◆分析展 2010 幕張メッセ 9月1日～3日◆**

**— 当社ブースにおける報道・メディア関係者向け特別説明セッションのご案内 —**

分析機器・理化学機器・医療機器・ラボ用ソフトウェアなどの先端分野において、世界 35ヶ国で 1兆円規模の事業を展開する、米 Thermo Fisher Scientific Inc.の日本法人サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社（代表取締役社長:デイヴィッド・ジョセフ・マリーナ、所在地:横浜市神奈川区守屋町三丁目 9 番地）は、9月1日から幕張メッセで開催される「分析展 2010」弊社ブース（4B-101,201,301）において、報道・メディア様向けに限定した、弊社テクニカル担当による説明セッションを行わせていただきます。

**特別説明セッション:「食べる」・「遊ぶ」を分析してみる**

私たちは製品のライフサイクルの短縮化やインターネットによる購買の多様化によって、国内のみならず世界中に存在する多種多様な商品をタイムリーに入手できる便利な社会に暮らしています。その反面、製品製造場所や利用素材・工程の複合化により、消費者の口に入る食品や、子供のオモチャに使用される物質におけるトレーサビリティ及び安全性の確認ニーズが非常に高くなっています。例えば輸入玩具中に含まれる有害物質。微量でも子供の腎臓機能、及び生殖機能に障害をもたらす可能性を持つものもあるのです。

しかし、それらがどのように分析され、結果として安全性の確保が判断されているか、なかなかクローズアップされる機会がありません。

そこで弊社は今回、報道・メディア関連会社様向けに、弊社の分析機器が人々の暮らしの安全をどのように支えているかについて、より身近な下記のトピックに限定し、弊社テクニカル担当による説明セッションを行わせて頂く予定でございます。

---

**トピック① 「食べる」**

**健康ブームですがホントに大丈夫? あなたの食べ物は安全ですか?**

**～「産地判別」の技術と、食品中の有害物質の分析手法～**

食品の産地判別には、外観等で判断をするのではなく、多数の元素、例えば野菜が生育した土壌・水の組成から科学的な判別が必要です。ここでは、元素の安定同位体比の分析により、産地の判別をする技術をご紹介します。また、食品中の有害物質（残留農薬や動物用医薬品、カビ毒など発がん性のある天然毒等）の分析方法について、弊社製品を例に、どのような物質がどうやって分析されるかをご説明いたします。

---

トピック② 「遊ぶ」

**そのおもちゃ大丈夫ですか？ 玩具の素材を調べてみる**

**～ソフビ人形やおしゃぶりに使われる「可塑剤」。その危険性を分析する方法とは～**

昔はブリキなど金属製のおもちゃが流行りましたが、最近ではプラスチック製品が多く流通しています。例えばお菓子のおまけやソフビ人形等、プラスチック玩具の多くには素材を柔らかくするための化学物質「可塑剤」が含まれています。一部の可塑剤については、幼児が玩具を口に含んだりして体内に吸収された場合に免疫・生殖機能に悪影響を及ぼす可能性があるといわれ、鉛、水銀、ヒ素などの有害金属と同様、欧米諸国や日本で厳しい制限措置が取られ始めました。ここでは、実際に流通しているおもちゃを分析した結果と考察を交え、素材の分析の手法をご紹介します。

今、消費者にとって欲しいのは「安全性」。安全性が科学的に実証された製品が求められています。それらの製品に使われている原材料を効率よく、正確に分析するために各種分析機器の果たす役割は、これからもますます増えていくと考えられます。

つきましては本企画をご考察頂き、皆さまお誘い合わせの上、ご参加頂けますようお願い申し上げます。

**「分析展 2010・科学機器展 2010」 について**

会 期	平成 22 年 9 月 1 日 (水) ～3 日 (金) 10:00～17:00
会 場	幕張メッセ
主 催	社団法人日本分析機器工業会 / 日本科学機器団体連合会
ウェブサイト	<a href="http://www.jaimasis.jp/2010/index.html">http://www.jaimasis.jp/2010/index.html</a>

◆参加ご希望日時 (□に☑をして頂き、第一、第二、第三希望をお知らせ下さい)

- |                                      |        |     |       |     |
|--------------------------------------|--------|-----|-------|-----|
| <input type="checkbox"/> 9 月 1 日 (水) | 午前中 (第 | 希望) | 午後 (第 | 希望) |
| <input type="checkbox"/> 9 月 2 日 (木) | 午前中 (第 | 希望) | 午後 (第 | 希望) |
| <input type="checkbox"/> 9 月 3 日 (金) | 午前中 (第 | 希望) | 午後 (第 | 希望) |

◆御社ご担当様ご記入欄 (お手数ではございますがご記入をお願い致します)

御社名 \_\_\_\_\_  
部署名 \_\_\_\_\_  
御氏名 \_\_\_\_\_  
TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_  
E メール \_\_\_\_\_  
媒体名 \_\_\_\_\_

◆お申込み (担当：園畑宛)

E メール: [info-jp@thermofisher.com](mailto:info-jp@thermofisher.com) FAX: 045-453-9110

### 米国Thermo Fisher Scientific Inc.について

Thermo Fisher Scientific Inc. (NYSE:TMO) は、世界をリードする科学サービス企業です。私たちのミッションは、私たちの住む世界を「より健康で、より清潔な、より安全な場所」にするために、お客様へ製品・サービスを提供することです。100 億ドル以上の収益と 35,000 人の従業員を誇り、医薬・バイオ企業、病院、臨床診断ラボ、大学、研究機関、公共機関のほか、環境分野・プロセス管理分野のお客様に貢献します。当社の二つの強力なブランド、Thermo Scientific と Fisher Scientific は、大切なお客様のために価値を生み出し、常に技術開発を行い、お客様に選択の幅と利便性を提供しています。当社の製品とサービスは、科学の側面からイノベーションをもたらし、先端研究からルーチン測定、フィールド測定にわたる分析の問題を解決します。ウェブサイト: [www.thermofisher.com](http://www.thermofisher.com)

### サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社（日本法人）について

米国 Thermo Fisher Scientific Inc.の日本法人である、サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社は、総合システム分析機器およびバイオ関連機器、研究用試薬などの販売会社です。日本国内では横浜、東京、大阪、福岡に拠点をもち、質量分析計をはじめとする各種分析機器、各種バイオ関連機器、計測器、医療機器、ラボ用ソフトウェア、研究用試薬を取り扱っています。

本社：神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 C-2F

代表取締役社長：デイヴィッド・ジョセフ・マリーナ

ウェブサイト: [www.thermofisher.co.jp](http://www.thermofisher.co.jp)

### このリリース内容に関するお問い合わせ先

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

マーケティングコミュニケーションズ

マネージャ 園畑知栄子（そのはた ちえこ）

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町 3-9 C-2F

電話 045-453-9212 ファクス 045-453-9110

<http://www.thermoscientific.jp>

<http://www.fishersci.co.jp>

Email: [info-jp@thermofisher.com](mailto:info-jp@thermofisher.com)